

品番 HA8421C, HA8421CL

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(1ページ)を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に
保管してください。

工事店様へ




この説明書は必ずお客様にお渡しください。

上手に使って上手に節電





安全上のご注意

必ずお守りください

警告

 禁止	<p>■次のような場所には取り付けない 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平面部が直径780mm未満の場所 (例: 下図) 直径780mm未満 凹凸のある場所 (例: 下図) 船底天井 格子天井 竿縁天井 補強のない薄い場所 (ベニヤ板、石こうボードなど) 55度を超える傾斜した場所 <p>●この器具は天井面取り付け専用です。</p>	 禁止	<p>■次のような配線器具には取り付けない 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出しろの少ないもの (7mm未満) フル引掛ローゼット WG6005 シーリングハンガーが取り付けられたもの がたついたり、破損しているもの 斜めに取り付けられたもの シーリングハンガー がたつき破損 ケースウェイに取り付けられたもの <p>●工事店、電器店に配線器具の交換を依頼してください。(交換には資格が必要です)</p>
	<p>■交流100ボルトで使用する 過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。</p> <p>■異常を感じた場合、速やかに電源を切る 異常状態が収まったことを確認し、販売店または別紙の相談窓口にご相談ください。</p>		 分解禁止

注意

 必ず守る	<p>■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。 点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。 ●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。</p>	 禁止	<p>■温度の高くなるものを器具の真下に置かない 火災の原因となることがあります。 ●器具の真下にストーブなどを置かないでください。</p>
 水ぬれ禁止	<p>■浴室など湿気が多い場所や屋外で使用しない 火災、感電の原因となることがあります。 ●この器具は防湿、防雨型ではありません。</p>		<p>■他の調光器と組み合わせて使用しない 調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。 ●工事店、電器店に調光器の取り外しを依頼してください。(取り外しには資格が必要です)</p>
 必ず守る	<p>■付属の梱包材は取り除いて使用する そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。</p>		

1. 配線器具を確認する

天井の配線器具を確認する。

取り付けできる配線器具



角型引掛シーリング
品番：WG1000



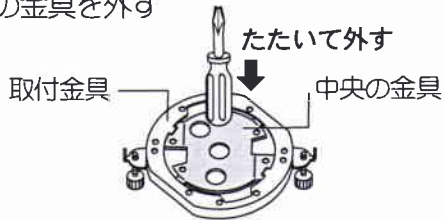
丸型フル引掛シーリング
品番：WG5005
WG5015



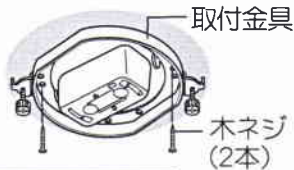
丸型引掛シーリング
品番：
WG4000, WG4420,
WG4005, WG4425,
WG1500

付属の取付金具の取り付けが必要です

①取付金具の中央の金具を外す



②補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で取付金具を取り付ける



上記5タイプ以外の配線器具

同梱の配線器具に取り替える (工事店、電器店に配線器具の交換を依頼してください。交換には資格が必要です。)

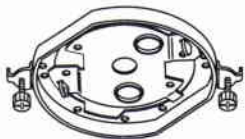
付属部品

(同梱されていることを確認してください)

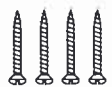


角型引掛
シーリング(1個)

●配線器具の交換には資格が必要です。
工事店、電器店に依頼してください。



・取付金具 (1個)
・本体止めネジ (2本)



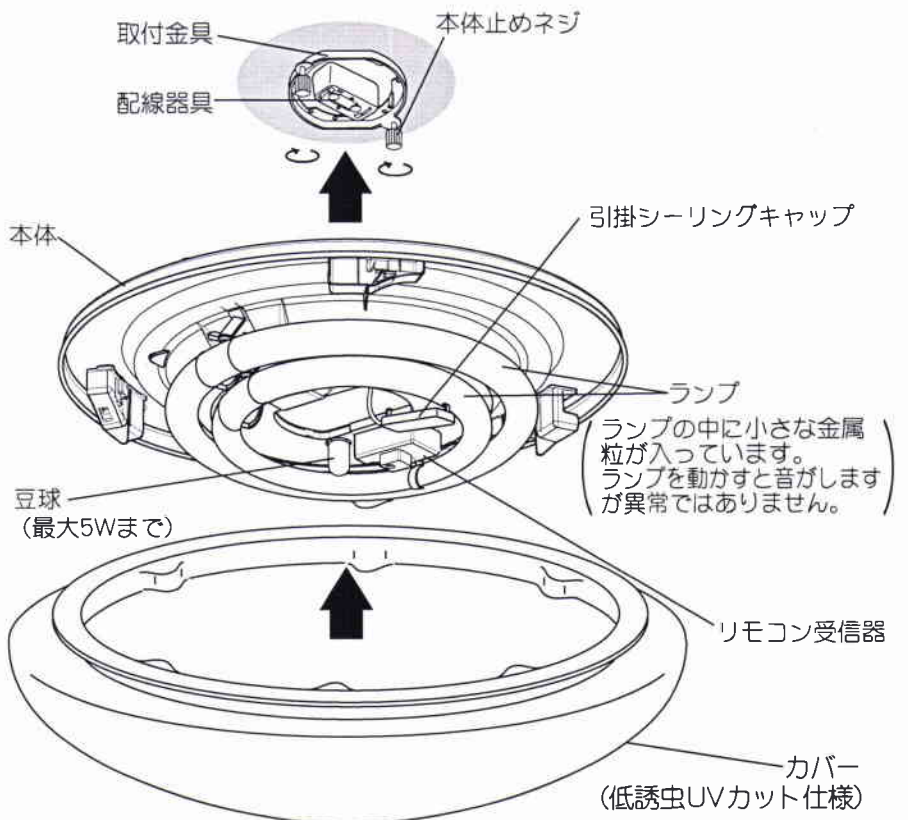
木ネジ(4本)
(引掛シーリング用 2本)
(取付金具用 2本)



パッキン大(1本)
(天井クロス
剥がれ防止用)



パッキン小(8枚)
(天井クロス
剥がれ防止用)



2. 天井のクロスを確認する

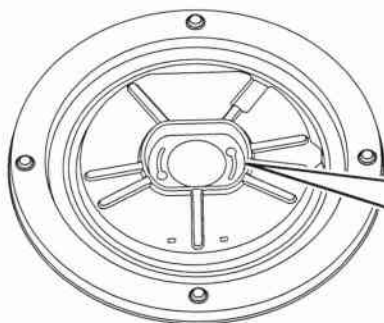
- 天井が塩ビクロスまたはオレフィンクロスの場合は付属のパッキンを貼り付けてください。

ご注意

上記クロス天井に、付属のパッキンを貼らずに器具を取り付けた場合本体にクロスが貼り付き、クロス剥がれの原因となります。

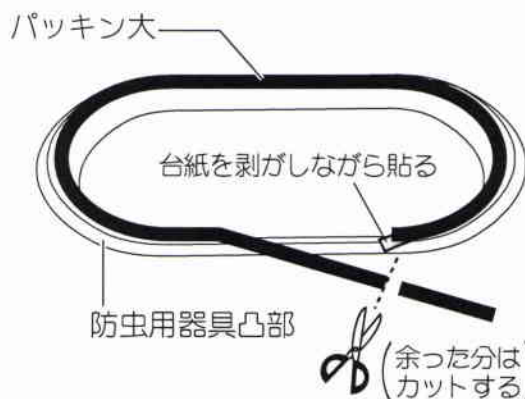
照明器具本体への付属パッキン大/小の貼り付け手順

- ①防虫用器具凸部全周に、パッキン大の台紙を剥がしながら貼り付ける。(余った分はカットする)

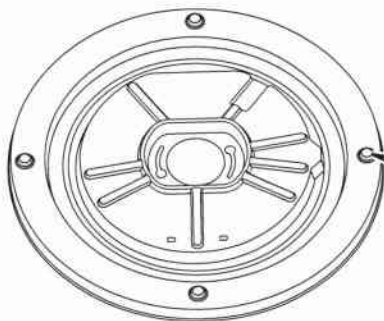


(器具タイプにより凸部の形状が違うものがあります。)

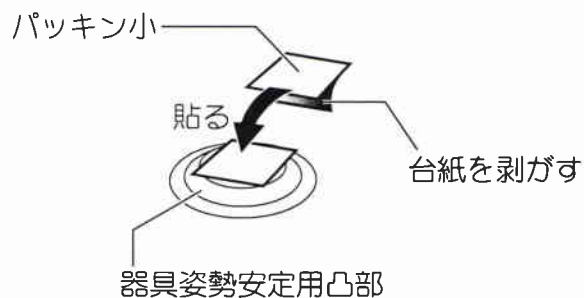
- パッキン大を貼り付ける。



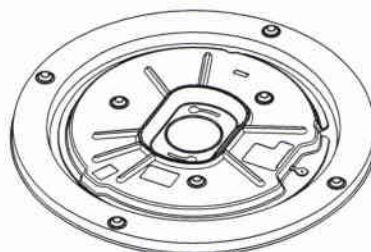
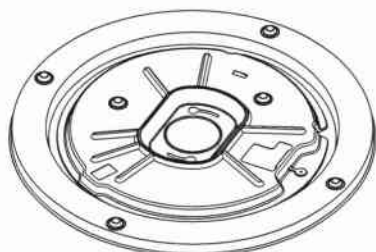
- ②器具姿勢安定用凸部に、パッキン小の台紙を剥がし貼り付ける。



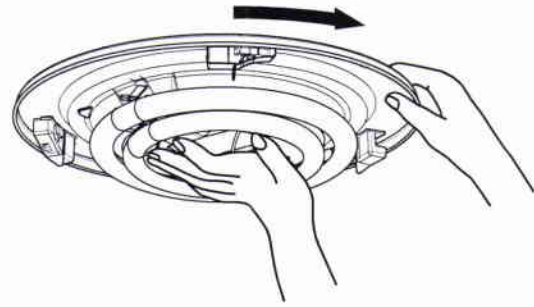
- パッキン小を貼り付ける。



- 器具タイプで凸部の数が違います。全ての凸部に貼り付けてください。



3. 本体止めネジとダルマ穴を合わせて
本体を押し上げ右に回す



4. ドライバーなどで
本体止めネジを締め付ける

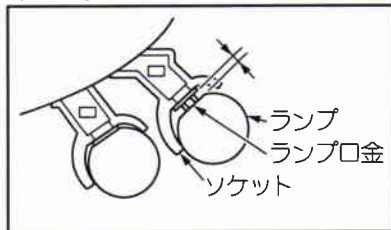
確認

- 取り付け後、本体ががたついたり、容易に回転したりしないか確認する。

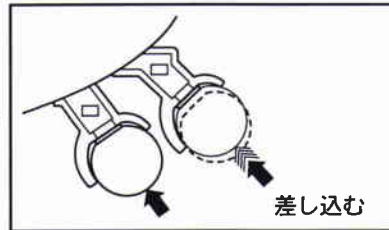


- 本体取り付け後、ランプがソケットから浮いていないか確認する。
➡ 浮いている場合は、ソケットにランプ口金を確実に差し込む。

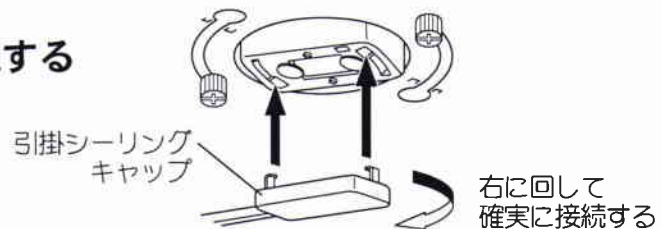
外れ、浮きあがり



差し込む



5. 配線器具に
引掛シーリングキャップを接続する

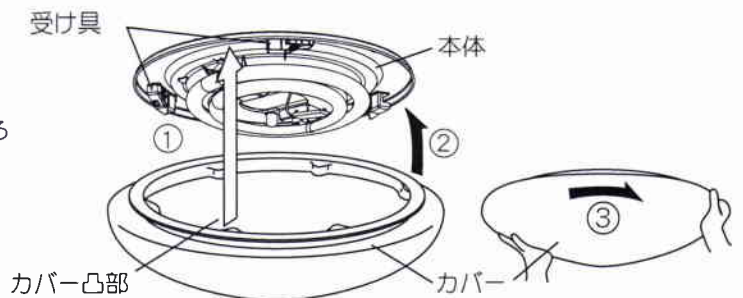


6. カバーを取り付ける

- ① カバー凸部を本体の受け具と受け具の間に合わせる
- ② カバーを持ち上げる
- ③ カバーを止まるまで右に回す

⚠ 注意

カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。



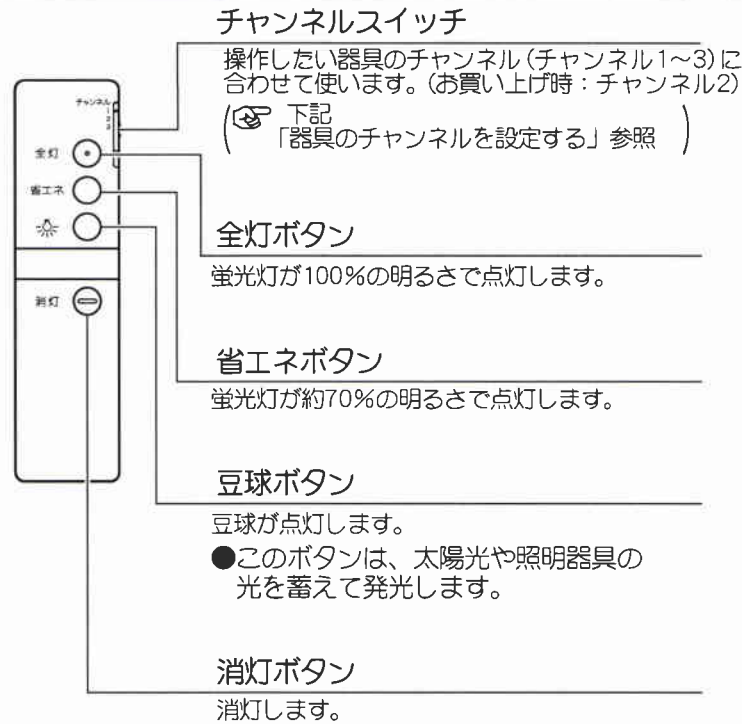
リモコンで操作する

壁スイッチを「ON」にして、器具に向けて操作してください

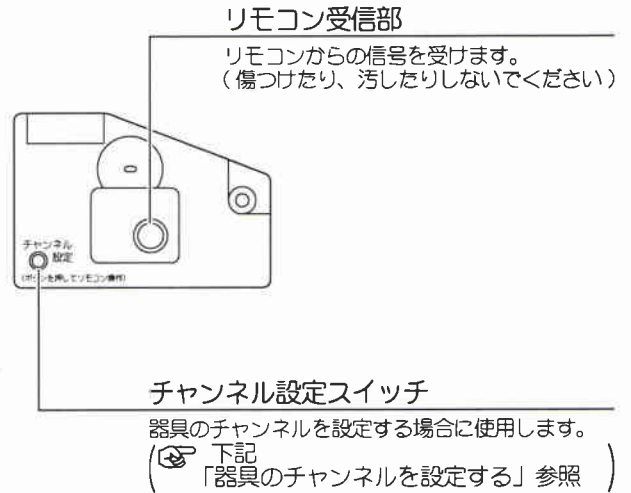
リモコンは別売です。ニーズに合わせてお求めください。

HK9328K	●蛍光灯、豆球をダイレクトに切り替えることができます。
HK9339	●蛍光灯、豆球が順番に切り替わります。
HK9392K	●タイマーの機能があります。 ●蛍光灯、豆球をダイレクトに切り替えることができます。
HK9323	●タイマー、アラームの機能があります。 ●蛍光灯、豆球をダイレクトに切り替えることができます。

リモコンのはたらき (HK9328Kの使用例)

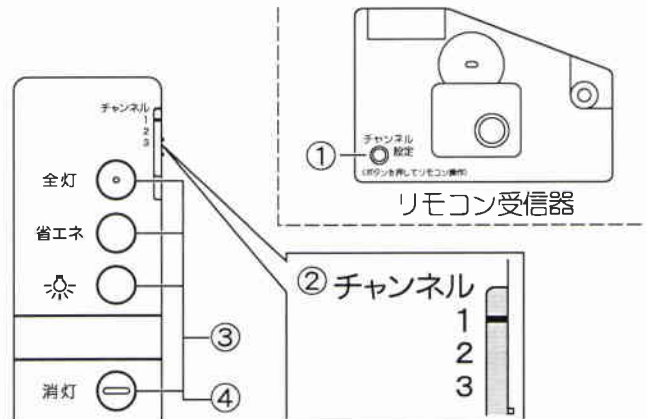


リモコン受信器のはたらき (器具本体にあります)



器具のチャンネルを設定する

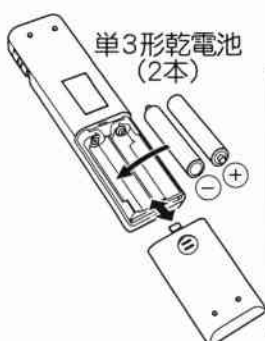
- ①リモコン受信器のチャンネル設定スイッチを押す
- ②リモコンのチャンネルスイッチを希望のチャンネルに合わせる (例:チャンネル1)
- ③リモコンのいずれかのボタンを押す (設定完了)
- ④リモコンのそれぞれのボタンを押して点灯状態が切り替わることを確認する



メモ

- 2台以上の器具をご使用の場合、各器具に違うチャンネルを設定しておけば、リモコンのチャンネルスイッチを切り替えて、1台のリモコンでそれぞれの器具を操作できます。(操作できる台数はリモコンにより異なります)

電池交換について



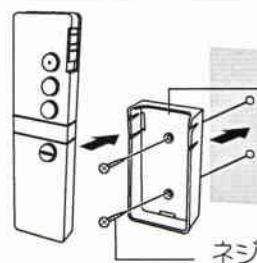
電池交換時期の目安

- ・乾電池は半年を目安に交換してください。

注意

- ・指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使わない。
- ・極性表示の通り ⊕ ⊖ を正しく入れる。
- ・使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。電池の破裂や液もれの原因となることがあります。

リモコンボックスについて



リモコンボックス

紛失防止用に壁掛け収納できます。

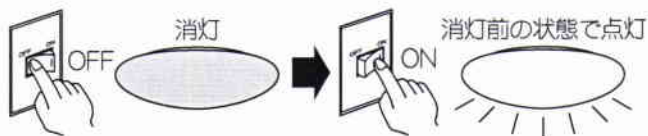
- リモコンは必ず器具に向けて操作してください。

壁スイッチで操作する

通常の点灯、消灯だけでなく、点灯状態を切り替えることができます。

消灯する・点灯する

- 壁スイッチをONすると、消灯前の状態で点灯します。
「段調光」でOFFすると、次にONしたときは「段調光」で点灯、
「豆球」でOFFすると、次にONしたときは「豆球」で点灯します。

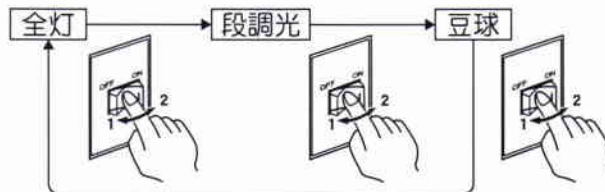


メモ

- リモコンで「消灯」した後に壁スイッチをOFFし、再度壁スイッチをONしても「消灯」のままです。壁スイッチを素早く（約2秒以内）OFF→ONするか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。
- 「段調光」で壁スイッチをOFFし、再度壁スイッチをONすると、いったん「全灯」になった後、「段調光」となります。

点灯状態を切り替える

- 壁スイッチを素早く（約2秒以内）OFF→ONすると、点灯状態が切り替わります。



メモ

- リモコンで消灯しているときにこの操作をすると、全灯に切り替わります。
- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。
- リモコンで消灯した場合、壁スイッチがONのままだと待機電力（1.5W以下）を消費しています。長時間使わないときには節電のため壁スイッチをOFFにしてください。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

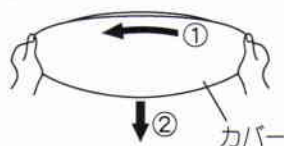
- ランプが1本でも寿命になると、すべてのランプは正常点灯しません。寿命のランプをはずすと正常なランプは点灯します。ランプは、すべて同時に交換することをおすすめします。
- ランプの明るさが低下したり、消灯や点滅を繰り返すとランプの寿命です。パナソニック製ランプをお求めください。
- 種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。



ランプの種類が表示されています。

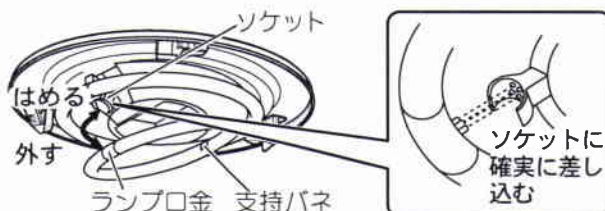
1. カバーを取り外す

- ①カバーを止まるまで左に回す
- ②カバーを外す



2. ランプを交換する

- 取り外す・・・ランプ口金側から外す。
取り付け・・・支持パネ側からはめる。



注意 ランプ口金を無理にまわさない
ランプ破損の原因となることがあります。

3. カバーを取り付ける

- ☞4ページ
「各部のなまえと取り付けかた」
手順6参照

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

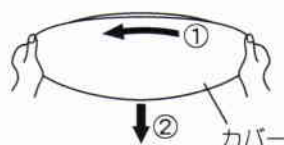
- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

本体の外しかた

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

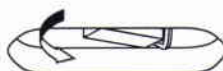
1. カバーを取り外す

- ①カバーを止まるまで左に回す
- ②カバーを外す



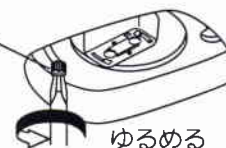
2. 引掛シーリングキャップを外す

- 引掛シーリングキャップを左に回す。



3. 本体止めネジをゆるめ本体を左へ回す

- 本体止めネジをゆるめる



使用上のご注意

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 電波の弱い場所（山間部、鉄筋建物内など）では、室内アンテナ使用のテレビやラジオに影響することがあります。
- 照明器具のきわめて近くでは、他の機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。
- 非常に短い停電が起こると点灯状態が意図せず切り替わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。
- 天井、壁、床の色や材質により、リモコンの操作距離が短くなる場合があります。
- 周囲温度が低いと、点灯直後リモコンで切り替わりにくいことがあります。その場合は、しばらくしてから操作してください。
- 低誘虫の効果は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。また設置した器具の周囲の光環境によって誘虫効果に差が生じます。
- 市販のLED豆球を使用すると、リモコンで「切」にしても完全に消灯しないことがあります。ご使用は避けください。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	左記の処置を行っても現象が続く場合
点灯しない	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットにはめる	
	ランプが切れている	ランプを交換する	
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする	
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを照明器具と合わせて操作する	

- 上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、工事店、電器店、別紙ご相談窓口にご相談ください。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz共用	70W (リモコンOFF時、1.5W以下)	(40形+32形)丸形蛍光灯 FCL40+FCL32

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書について

保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より1年間です。但し安定器については3年間です。（ランプ等の消耗品は除きます。）

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打切り後最低6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
お買い上げの販売店まで保証書をそえて商品をご持参ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてのご不明な点は
修理に対するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはお近くのパナソニック電工修理ご相談窓口（別紙一覧表ご参照）にお問い合わせください。